



「村屋神社」
 所 田原本町蔵堂426
 問 ☎0744-32-3308
 www.murayajinja.com
 近鉄田原本駅からタクシーまたは徒歩で約3.5km

村屋神社

(通称)
 壬申の乱で大海人軍へ神託
 鎮守の杜に中ツ道が通る古社

古代最大の内乱といわれる「壬申の乱」。大海人皇子軍と大友皇子率いる近江朝廷軍の激戦は、奈良県内でも繰り広げられていました。大海人皇子軍は飛鳥と奈良を南北に結ぶ古代の幹線道路、上ツ道、中ツ道、下ツ道に分かれて防衛し、近江朝廷軍を迎え撃つたのです。

村屋神社(村屋坐弥富都比売神社)は、社地を「中ツ道」が通ったとい、「壬申の乱」に深い関わりがあるとされています。天武天皇元年(672年)、壬申の乱の折、村屋神が神主にのりうつり、「わが社の中を敵が来る。社の中つ道を防げ」と大海人皇子軍に助言しました。後に、戦いを勝利に導いた功績により神社として初めて天皇から位

を賜ったことが『日本書紀』に記されています。村屋神社の歴史は古く、主神の三穗津姫命は、大物主命の妃として『日本書紀』に登場します。このことから、大物主命を祭神とする大神神社(桜井市)の後の宮「別宮」とも称されています。垂仁天皇の御代には三穗津姫命と大物主命の夫婦神を合祀したと伝わり、縁結びの神、家内安全の神としての信仰を集めてきました。

参道から境内周辺はイチイガシが高々とそびえ、群生地として社叢全体が県の天然記念物に指定されています。「壬申の乱」の舞台となった縁結びの古社は、千数百年もの時を経て、今もこの地で厳かにたたずんでいます。

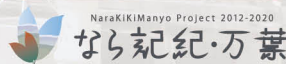


「第4回 古事記のまつり」開催!

『古事記』に親しみ、その魅力を味わうイベントです。

プログラム

- 13時～ 桂文我さんによる「古事記落語」
- 14時～ 「古事記朗唱大会」「こども古事記かるた大会」
- 17時～ 宮崎県「高千穂神楽」の公演



観覧無料
 申込不要

所 奈良春日野国際フォーラム 薨
 時 1月21日(土) 13時～18時
 問 「第4回 古事記のまつり」事務局
 (株)SAP内) ☎03-5226-8537

第4回古事記のまつり 検索

